

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. C-33

部門名： 地域とともにある学校実践部門	エントリー名：直島町立直島小学校
活動名：主タイトル：地域発信型単元の開発 副タイトル：ふるさと学習×英語教育で表現力ノ	
解決すべき課題： 本校は、瀬戸内海に浮かぶ島のへき地学校であり全校児童約 130 名である。児童は、限定されがちな人間関係から、主体的な表現力に課題が見られる。また、観光客が多く来島することは知っているが、直島のよさや特徴について十分に知らない児童が多く、自分が住む地域について自信がもてていない状況が見られる。	
目標・方針： 英語でやりとりする楽しさを味わいながら表現力を育成する。	
ふるさと学習 ふるさと直島を教材として、地域や地域に住む人たちと関わることで、地域のよさを知る。	地域のよさを生かした教育課程
英語学習 外国語活動、外国語を通して、異文化間コミュニケーションを体験し、自信をもって英語で発信する。	
活動内容： 自分たちが住んでいる地域の特徴を活用し、学ぶことと発信することを効果的に構成する地域に開かれた教育課程を通して教育効果を上げる。 (1) ふるさと学習を核として、直島のよさを学習する教育課程の編成 (資料 1) (2) 英語学習を充実する日課表の工夫と、地域発信型単元の作成 (資料 2)(資料 3) (3) 発信の中心的な行事として、島外の人に向けて「Meet the World」の実施 (資料 4)	
活動の成果： (1) 英語を用いた表現 (発信) への児童の抵抗感は少なくなっている (2) 直島のよさを知ること、他者 (観光客、地元の人、島外の人等) へ知らせたい意欲が向上 (3) 英語アンケートから見られる児童の意識の変化 (4) Meet the World に参加する ALT 等の高い評価	
アピールポイント (アイデアや工夫)： (1) ふるさと学習を核として、地域との関わりを通してよさや特徴を学ぶとともに、地域の人や地域に関わる人とのコミュニケーションを工夫する。 (2) 英語による表現力の向上に向けた単元構成を工夫する。 (3) 表現、発信の場としての「Meet the World」を実施する。	

資料 1 ふるさと学習の内容

■環境学習

「直島の自然や環境について学ぶ」



■町にあるアートを学習

「自分たちが住む町を知る」



■美術館について学習

「世界的に有名な作品を知る」



■ふるさとクラブ

「直島に伝わる女文楽」



「昔の生活と出会うエコアート」



■ようこそ先輩

「直島で活躍する先輩の生き方から学ぶ」



資料 2 日課表の工夫

	月	火	水	木	金
朝の時間		●			
1		5年	4年		1年
2			2年		5年
3					
4			3年		6年
給食時	各学年の単元に関連した英語の歌				
English Time	各学級でpicture dictionaryなどを使って英語にふれる				
5			3M	4M	
6	1・2M	6年		5M	
放課後	6M		研修	研修	

4回/年 全校生 異文化体験の話

授業

各学年の単元に関連した英語の歌

各学級でpicture dictionaryなどを使って英語にふれる

M: ALTとのミーティング

教員研修

資料 3 地域発信型単元

6年	アド街ック直島～直島のお勧めの紹介～
5年	直島のアートを紹介しよう
4年	直島ワードを集めよう
3年	学校を紹介しよう
2年	身近な事を ALT に伝える
1年	～1日の生活、おまつり紹介～

資料 4 Meet the World



参加する ALT との挨拶



ALT との交流



直島アートツアー

